

体罰防止に向けて

おはようございます。2学期もあと1週間となりました。年末も近いので、まとめや整理することがたくさんあると思いますが、限られた時間の中でもしっかりとやりきってほしいと思います。

今日は、学校における「暴力」や「体罰」をなくし、みなさんの大切な体と心を守るための話をします。

自分の体や心は、自分自身だけのものです。

叩かれる、蹴られる、突き飛ばされるなどの肉体的に苦痛を感じるような行為だけが暴力ではありません。くり返し傷つく言葉を言われる、机を蹴られるなどの精神的に苦痛を感じる行為も暴力に含まれます。

暴力は、どんな理由があっても、誰であっても、決して許されるものではありません。

学校にいる、先生やその他の大人が、みなさんに対して、指導の際に、叩いたり、蹴ったりするなどの肉体的な苦痛を与える行為は「体罰」といい、禁止されています。

また繰り返し暴言や心を傷つける言葉を言ったり、机を蹴ったりして威圧するなど、精神的な苦痛を与えることも不適切な行為とされています。

したがって、皆さんは、傷つくようなことがあったら、いつでも私も含めて、話せる先生、スクールカウンセラーに相談してください。そして、自分が受けていなくても、周りの仲間が、嫌な思いをしていたり、その場面を見たときは、迷わず相談してください。

今日はこの講話の後に、みなさんに「体罰をなくすための調査用紙」を配り、みなさんたちの様子を聴きます。もし今、苦痛を感じているようであれば、自分の思いを伝えてください。丁寧に対応するので、安心して書いてください。

また、この用紙に書きたくないときは、清瀬中学校のホームページにも掲載していますが、相談する窓口はたくさんありますから、電話やメールで相談してもかまいません。さらに調査の後、この体罰だけでなく、困ったことがあった時には、いつでも話せる先生や周囲の大人に相談してください。

校長先生も先生たちも、生徒の皆さんの体と心を大切に守りたいと考えています。そのためにも、ぜひ一人で悩まないで、周囲に助けを求めてくれればと思います。